

# 2013年1月1日～2018年12月31日の間に 当科において歯原性粘液腫の治療を受けられた方へ —「上顎洞へ進展した歯原性粘液腫の検討」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科 助教 岡田俊輔  
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野 教授 浅海淳一  
岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科 助教 久富美紀

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

歯原性粘液腫は、顎の骨に稀に発生する良性の腫瘍ですが、周りの組織にしみるように広がっていく性質があるため、手術を行う際には周りの組織も一緒に取り除く必要があります。歯原性粘液腫が上顎に発生した場合、鼻の両側にある上顎洞という空洞に広がる場合があります。上顎洞へ広がった歯原性粘液腫について、画像検査や病理検査の特徴について検討を行います。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により、将来の口腔領域の画像診断の進歩に貢献できる可能性があります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2013年1月1日～2018年12月31日の間に岡山大学病院において歯原性粘液腫と診断され、病変が上顎洞へと広がっていた方を研究対象とします。

### 2) 研究期間

2019年3月15日～2020年3月31日

### 3) 研究方法

2013年1月1日～2018年12月31日の間に当院において歯原性粘液腫の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに画像検査および病理検査のデータを選び、特徴的所見について調べます。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 画像所見、画像検査や病理検査の検査データ

## 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学歯学部 歯科放射線学分野 助教・講師室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年6月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科

氏名：岡田 俊輔

電話：086-235-6706（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-235-6709